

【別添様式2：不適合事象報告書】

JFEエンジニアリング株式会社
統括所長

作成日時 令和 6年 1月 24日 13時 00分

不適合事象の種類	消防署が出動して鎮火した火災（区分2）
不適合事象発生場所	ごみ処理施設（焼却施設棟ごみピット）
不適合事象発生日時	令和 6年 1月 22日 午前 11時 30分頃
1) 不適合事象発生概要	発熱性の高いごみがピット内に投入され発煙、発火し、消防署へ通報したもの
2) 不適合事象の原因	搬入された可燃ごみの中に本来分別されるべき発熱性の高いごみが紛れていたことにより、可燃ごみピット内にて他のごみに着火したものと考えられる
3) 被害状況	①設備・装置の被害状況：無 ②人的被害状況：無 ③二次被害状況：無 ④周辺環境への影響：無
4) 不適合事象発生時の対応等	ごみクレーン操作者から運転所長に視界が妨げられる程度の粉状の廃棄物がNo.3投入扉より投入されたとの報告が入る。運転員が、4Fホッパーステージに入室し、ごみピット内の視界状態の確認を行った際に「焦げ臭い匂い」を確認。 複合火災受信機より火災検知が発報し初期消火活動を開始。改善しないため、組合からの指示により消防署へ通報。
5) 施設稼働停止の状況及び復旧日時	施設稼働停止時間：約2時間 復旧時間：令和 6年 1月 22日 午後 1時 50分 頃
6) 不適合事象の調査及び防止対策等の状況	① 不適合事象対策本部の設置：無 ② 周辺環境調査の実施：無 ③ 不適合事象調査委員会の開催：無 ④ 復旧作業・不適合事象防止対策・改善策等 1)ごみピット火災対応作業手順書の見直し改訂 2)所員に再発防止に向けた安全教育を実施 3)手選別時に発火物が混入しないよう再徹底
7) その他	なし

【経過報告】

作成日 令和6年1月24日

令和6年1月22日

- 11:30頃 ごみクレーン操作者より視界が妨げられる程度の粉状の廃棄物がNo.3投入扉より投入されたとの報告が運転所長に入る
- 11:35頃 運転員が4Fホッパーステージに入室し、ごみピット内の視界状態の確認を行った際に「焦げ臭い匂い」を確認
- 11:40頃 No.4投入扉より煙が上がっているのを中央制御室作業員が発見
消火放水銃【手動】にて消火活動を開始
複合火災受信機より火災検知、発報
プラットホームより屋外消火栓にて初期消火活動を開始
ごみの受け入れを中止
- 11:45頃 No.4投入扉前にて、炎を確認
- 11:50頃 排煙ファン起動【手動】
ごみピット上部の排煙口を開ける
- 12:00頃 放水銃、消火栓による自己消火を継続して行っていたが、状況が改善しないため消防に通報
- 12:10頃 消防到着
- 12:15頃 消防による消火活動を開始
- 12:45頃 消防の指示により屋外消火栓及び消火放水銃による消火活動を停止
消防は引き続き消火活動を継続
- 12:55頃 消防により鎮火を確認
- 13:50頃 プラットホーム投入扉No.1、No.2のみを使用しごみの搬入を再開
火元付近のNo.3、No.4扉は終日使用せず
ごみクレーン操作室よりごみピットの監視を継続

消火活動の状況



焼却施設

